

2024（令和6）年度 一般社団法人全国軽費老人ホーム協議会
「定時総会 及び 40周年記念事業(式典・講演会・祝賀会)」の開催について

1. 趣旨：

本協議会は1983（昭和58）年大阪で任意団体として創設され、「軽費老人ホーム」の課題解決やサービスの質の向上に特化した取り組みを実践してまいりました。2012（平成24）年末に「一般社団法人」を取得しました。現在、全国には約2,300余施設の軽費老人ホーム、ケアハウスが存在しますが、本協議会は8ブロック（北海道、東北、関東、東海北陸、近畿、中国、四国、九州）で約500の社員施設が活動しています。

軽費老人ホーム・ケアハウスは、昭和38年、老人福祉法施行以来、自立生活困難な要配慮高齢者、低所得者、生活困窮者他、制度の網から漏れる複合的な福祉ニーズを抱える高齢者の住まいと生活支援を提供してまいりました。また、少子高齢・人口減少、地域社会の脆弱化等、社会構造の変化の中で、人々が様々な生活課題を抱えながらも住み慣れた地域社会の中で自分らしく暮らしていけるよう、地域住民等が支えあい、一人一人の暮らしと生きがい、地域を共に創っていくことができる「地域共生社会」の実現が求められている中で、当協議会においては、軽費老人ホーム・ケアハウスが「地域共生型の中核施設」として機能と役割を担うことを目指しております。

2023年に創設から40年が経過することとなり、令和6年度定時総会の開催に合わせて創立40周年記念式典・事業を開催することと致しました。

当日は、40周年記念誌（10年小史）を編纂・発刊すると共に記念講演として、精神科医でベストセラー作家でもある和田秀樹氏をお呼びして「『80歳の壁』を越える方法～人は「感情」から老化する 脳の若さを保つ習慣術～」をテーマにご講義いただきます。ぜひ多くの皆様にご参加いただき、創立40周年記念を共に祝賀いただくことをお願い申し上げます。

2. 主 催： 一般社団法人 全国軽費老人ホーム協議会

3. 場 所： ニューオータニイン東京
東京都品川区大崎1-6-2（JR山手線大崎駅直結）

4. 日 時： 令和6年6月18日（火）13:00～19:30

5. 内 容：

12:00	13:00	14:00	14:50	15:00	16:30	17:30	19:30
受 付	定 時 総 会	記 念 式 典	休 憩	記 念 講 演	休 憩 （別室にて）		記 念 祝 賀 会

12:00～13:00 受付

13:00～14:00 令和6年度定時総会

開会あいさつ／理事長あいさつ

- 議案
1. 令和5年度事業報告及び決算（案）について
 2. 令和6年度事業計画及び予算（案）について
 3. 任期満了による役員改選について
 4. その他

14:00～ 創立40周年記念式典 開会／主催者挨拶／来賓挨拶／祝電披露／感謝状贈呈

14:50～ 休憩

15:00～ 創立40周年記念講演【『80歳の壁』を越える方法

～人は「感情」から老化する 脳の若さを保つ習慣術～】

講師：和田秀樹氏（精神科医・作家・臨床心理士・教育者他 高齢者専門

の精神科医として、30年以上にわたり高齢者医療の現場に携わっている。）

（9. 講師プロフィール 参照）

著書『80歳の壁』（2022年の年間ベストセラー総合第1位（日販調べ））

『70歳が老化の分かれ道』（同上第8位（日販調べ））

『人は「感情」から老化する 脳の若さを保つ習慣術』他多数



16:30～ 閉会 会場設営の為、参加者は別室に移動し待機をお願いいたします。

17:30～ 創立40周年記念祝賀会 開始

立食形式・ビュッフェスタイル・フリードリンク（予定）

19:30 終了

6. 参加対象者： 一般社団法人 全国軽費老人ホーム協議会 社員施設の役職員
（非社員の場合でも、社員施設の推薦があれば参加可能です。）

7. 定 員： 100名（現地参加のみ）

8. 参加費： 15,000 円／人（定時総会・記念式典・記念講演・記念祝賀会）
会場のホテル（ニューオータニイン東京）を予約することが可能です。
（6月18日（火）チェックイン 6月19日（水）チェックアウト）（30名限定）
禁煙・シングルルーム 朝食なし：13,000 円（込） 朝食付き：14,500 円（込）
※40周年記念誌は各社員に1部、無償配布します
9. 支払方法
申し込み受付後、ご請求書をメール送信させていただきます。振込手数料は社員様にてご負担くださいますよう、お願いいたします。
10. 締め切り： 申し込みの締め切りは、令和6年6月10日（月）とさせていただきます。また、定員になり次第、受け付けは終了させていただきますので、お早めにお申し込みください。

11. 記念講演 講師プロフィール

和田秀樹氏

1960年大阪市生まれ。1985年東京大学医学部卒業。
東京大学医学部付属病院精神神経科、老人科、神経内科にて研修、国立水戸病院神経内科および救命救急センターレジデント、東京大学医学部付属病院精神神経科助手、アメリカ、カール・メニング精神医学校国際フェロー、高齢者専門の総合病院である浴風会病院の精神科を経て、現在、川崎幸病院精神科顧問、一橋大学経済学部・東京医科歯科大学非常勤講師、和田秀樹こころと体のクリニック院長、立命館大学生命科学部特任教授。
1987年の『受験は要領』がベストセラーになって以来、大学受験の世界のオーソリティとしても知られ、代表を務める緑鐵受験指導ゼミナールは毎年無名校から東大合格者を出し、話題となっている。
2007年12月劇映画初監督作品『受験のシンデレラ』でモナコ国際映画祭最優秀作品賞受賞、2013年12月には第二回監督作品『「わたし」の人生』（介護離職をあつかった人間ドラマ、秋吉久美子、橋爪功がモナコ国際映画祭で主演女優賞、主演男優賞を受賞し、自らも人道的作品監督賞受賞。
主な著書に『80歳の壁』『ぼけの壁』（幻冬舎新書）『テレビの大罪』（新潮新書）、『受験は要領』
『[新版]「がまん」するから老化する』（PHP文庫）『自分が高齢になるということ【完全版】』（朝日新書）、『大人のための勉強法』『老人性うつ』『老いの品格』（PHP新書）『70歳が老化の分かれ道』（詩想社新書）、『自己愛の構造』（講談社選書メチエ）『医学部の大罪』（ディスカバー21携書）
『人は感情から老化する』（祥伝社文庫）など800冊を超える。翻訳書に『「あいだ」の空間——精神分析の第三主体』（トマス・オグデン著、新評論）『トラウマの精神分析』（ロバート・ストロロウ著、岩崎学術出版社）などがある。



